

目 標 達 成 計 画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	37-b	感染症対策もあり、ご家族の面会が居室内に限定されており、ホーム内の行事や活動などへの参加が少ない。	ご家族とともに本人を支える関係作りを目指し、ホーム内でご家族が参加できる活動を増やす。	・利用者個々の要望や好みに合わせた活動を面会時などにお願ひし、ご家族様の都合の良い時に継続して行えるよう相談をする。 ・個別の介護計画内でご家族に協力して頂ける内容を盛り込み、一緒に取り組む機会を増やす ・ご利用者が落ち着かれなかったり、混乱する場合にはご家族と相談する時間をつくり、安心できる環境づくりを行う為の協力をお願いする。 ・ご家族様にレクリエーションや園芸活動などの得意なことで、ご利用者の活動として一緒にして頂ける機会をつくれるよう相談する。	12 か月	
2			行事などもご家族が参加できる内容を計画し、一緒に活動できる取り組みを増やす。	・感染対策を行い、屋外などでできる行事を計画してご家族に案内を出し来訪して頂けるように取り組む。 ・地域の屋外行事なども案内をお出しし、一緒に参加して頂ける方をお願いする。 ・誕生会の案内をご家族にお送りし、一緒にお祝いできる機会をつくる。 ・地域交流室での認知症カフェに来て頂いてご家族同士で交流できる機会をつくる。 ・感染対策を図り、ホーム内で家族同士が集まれる行事も企画し案内を行う。	12 か月	
3	5-b	介護計画の実践を行った内容の記録が少ない	介護計画の実践内容の記録を増やし、職員間で情報共有することで、日々の支援を充実させたい。	・職員毎に利用者担当を決めており、自分の担当の方の計画実践内容を必ずタブレットに入力を行うようにする。 ・毎日14時の時点でケース記録を確認し、計画内容の記録が入力なければ声掛けを行う。 ・介護計画の実践した内容はタブレット入力の際に種別を選定し、見直しやすいようにする。 ・実践内容の書き方は管理者やリーダーが見本となるよう入力し、他の職員は模倣しながら入力できるよう練習する。 ・介護計画のどの内容を実践したのかわかりやすいよう、計画に番号を記載し、番号を入力してケース記録を入力するようにする。	12 か月	